

受験番号

◎ 指示があるまで開かないこと。

令和6年2月15日 午前用

第75回獣医師国家試験 実地試験問題 (C)

注意事項

1. 問題数は60問であり、解答時間は2時間である。
2. 解答方法は次のとおりである。

〔1〕 各問題には5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した答えを1つだけ選び、次の例にならって答案用紙にマークすること。なお、1問につき2つ以上マークした場合には、そのうちの1つが正答であっても誤りとして取り扱われる。

(例) 問61 我が国で獣医師国家試験事務を受けもっている省はどれか。

1. 厚生労働省
2. 文部科学省
3. 農林水産省
4. 外務省
5. 国土交通省

正答は「3」であるから、答案用紙の

61 E 1 ☐ E 2 ☐ E 3 ☑ E 4 ☐ E 5 ☐のうちE 3 ☑を横線で、
61 E 1 ☐ E 2 ☐ ~~E 3 ☑~~ E 4 ☐ E 5 ☐とマークすれば良い。

〔2〕 答案用紙のマークには、必ずHBの鉛筆を使用し、次の良い例のとおり、塗りつぶさずに線を引くこと。

良い例…… 悪い例……

〔3〕 答えを修正する場合は、必ずプラスチック製の消しゴムで完全に消し、消し跡や消しクズが残らないようにすること。消し方が悪いと採点されないの
で注意すること。

〔4〕 答案用紙は、折り曲げたり、メモやチェックなどで汚したりしないよう特
に注意すること。

問1 〔表1〕は多飲多尿を主訴とする犬の水制限試験の結果である。解釈として最も適当なのはどれか。

1. 中枢性尿崩症と診断する。
2. 腎性尿崩症と診断する。
3. 尿崩症を否定する。
4. 水制限試験の継続が必要である。
5. バソプレッシン試験を実施する。

別冊 C
表 1

問2 24 週齢の免疫不全マウスが〔図2 - A〕のような外貌を示した。〔図2 - B〕は剖検時の肝臓の外観である。最も疑われる原因菌はどれか。

1. *Corynebacterium kutscheri*
2. *Citrobacter rodentium*
3. *Staphylococcus aureus*
4. *Pseudomonas aeruginosa*
5. *Helicobacter hepaticus*

別冊 C
図 2 - A, B

問3 〔表3〕は、ある感染症の集団発生事例に関する届出の概要である。最も疑われる感染症はどれか。

1. レジオネラ症
2. 結核
3. クリプトスポリジウム症
4. 破傷風
5. レプトスピラ症

別冊 C
表 3

問4 猫、雑種、避妊雌、17歳齢。慢性嘔吐および下痢の精査目的のため吸入麻酔下で消化管内視鏡検査を行った。検査終了間近に酸素飽和度が85%に低下した。〔図4〕は胸部X線側方像である。本症例の酸素飽和度低下の原因と考えられるものとして最も適当なのはどれか。

1. 心臓尾側に腫瘤が存在する。
2. 気管内チューブが食道に誤挿管されている。
3. 気管内チューブによる気道損傷が疑われる。
4. 消化管内の過剰なガス貯留により横隔膜が圧迫されている。
5. 消化管穿孔による気腹所見がある。

別冊 C
図 4

問5 〔表5〕は、酪農場AおよびBにおいて疾病の罹患状況を同じ時期のある一時点で調査して得られた結果である。このデータから得られる疫学指標と、農場間における罹患状況の違いを判定する統計学的手法の組合せはどれか。

疫学指標	統計学的手法
1. 発生率	相関分析
2. 累積罹患率	カイ二乗 (χ^2) 検定
3. 発生率	t 検定
4. 有病率	カイ二乗 (χ^2) 検定
5. 有病率	相関分析

別冊 C
表 5

問6 〔図6〕は牛の頭部正中断面である。図中の各矢印の番号と、選択肢の番号は対応している。各矢印で指す構造名として正しいのはどれか。

1. 嗅球
2. 中脳蓋
3. 視床下部
4. 小脳脚
5. 門 (カンヌキ)

別冊 C
図 6

問7 〔図7〕に示す症状を呈する鶏の感染症に関する記述として適切なのはどれか。

- a 小腸に壊死病変を認める。
- b 症状は強直性痙攣が特徴的である。
- c 発症個体の血液中に毒素が存在する。
- d 原因菌は芽胞を形成する。
- e 原因菌のほとんどはA型毒素を産生する。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

別冊 C

図 7

問8 ウサギ、ホーランド・ロップ、雄、4歳齢。足に怪我をしているとの主訴で来院。肥満で爪は過長であり、両足の足底部に〔図8〕に示す病変が認められた。本症例への対応として適当でないのはどれか。

- 1. 床材を清潔なタオルにする。
- 2. 食餌中のペレットフードの割合を増やす。
- 3. 爪を適切な長さに保つ。
- 4. 鎮痛剤を投与する。
- 5. 安楽死の可能性について説明する。

別冊 C

図 8

問9 犬、パグ、雄、1か月齢。神経症状を呈して死亡した。〔図9 - A〕は小脳 HE 染色低倍像、〔図9 - B〕は同部位 HE 染色高倍像である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 壊死性髄膜脳炎
2. 小脳萎縮
3. 犬ジステンパー
4. ガラクトセレブロシドーシス（グロボイド細胞性白質ジストロフィー、クラッベ病）
5. セロイド・リポフスチン症

別冊 C
図 9 - A, B

問10 犬の被毛上に〔図10〕のような節足動物がみられた。この節足動物が媒介する寄生虫はどれか。

1. 犬糸状虫 (*Dirofilaria immitis*)
2. 犬回虫 (*Toxocara canis*)
3. 犬鉤虫 (*Ancylostoma caninum*)
4. 瓜実条虫 (犬条虫) (*Dipylidium caninum*)
5. 犬鞭虫 (*Trichuris vulpis*)

別冊 C
図 10

問11 犬、ミニチュア・シュнауザー、雌、8歳齢。1週間前から時々嘔吐しており前日から急に元気食欲が全くなかったとの主訴で来院。身体検査では腹部圧痛および波動感が認められた。超音波検査で中程度の腹水を認めた。〔図11〕は腹腔穿刺で採取した腹水の沈渣塗抹標本（ライトギムザ染色）である。最も疑われる疾患・病態はどれか。

1. 急性膵炎
2. 胆汁性腹膜炎
3. 消化管穿孔
4. 肝硬変
5. 中皮腫

別冊 C
図 11

問12 猫、ヨーロッパアン・ショートヘアー、雌、10か月齢。乳腺全域で腫脹がみられた。〔図12-A〕は腹側の外貌、〔図12-B〕は摘出された乳腺部の病理組織像（HE染色）である。本病変の発症に関連するホルモンはどれか。

1. アンドロジェン
2. エストロジェン
3. オキシトシン
4. プロラクチン
5. プロジェステロン

別冊 C
図 12 - A, B

問13 〔図13〕は犬の胆嚢の超音波検査像である。本疾患の発生と関連性が高いのはどれか。

- a 副腎皮質機能低下症
- b 上皮小体機能低下症
- c 甲状腺機能低下症
- d 副腎皮質機能亢進症
- e 上皮小体機能亢進症

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

別冊 C
図 13

問14 犬、雑種、雄、2歳齢。〔図14 - A〕は陰茎包皮に発生したカリフラワー状腫瘍の肉眼像、〔図14 - B〕は腫瘍の細針吸引細胞診像（ライトギムザ染色）、〔図14 - C〕は病理組織像（HE染色）である。本疾患に関する記述として最も適切なものはどれか。

- a 交尾により雌雄間を伝播する腫瘍である。
- b 自然退縮する。
- c *c-kit* 遺伝子の変異が検出される。
- d 犬で最も発生頻度の高い腫瘍である。
- e パピローマウイルスが腫瘍発生に関与している。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

別冊 C
図 14 - A, B, C

問15 〔図 15〕が示す下水処理法に関する記述として適切なのはどれか。

1. 下水に含まれる窒素およびリンを同時に処理できる。
2. 嫌気タンクでは有機物の酸化分解が起こる。
3. 嫌気タンクでは硝化細菌によってアンモニア性窒素が硝酸性窒素に変化する反応が起こる。
4. 好気タンクではリン蓄積細菌が嫌気タンクでの放出を上回る量のリンを取り込む。
5. 好気タンクからは窒素ガスが放出される。

別冊 C

図 15

問16 犬、ミニチュア・ダックスフンド、避妊雌、2歳齢。1週間前からの元気食欲の低下および嘔吐を主訴に来院。〔図 16 - A, B〕は腹部 X 線像（A：側方像、B：腹背像）である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 線状異物
2. 炎症性腸疾患
3. 肝臓腫瘍
4. 胆石症
5. 急性膵炎

別冊 C

図 16 - A, B

問17 馬、サラブレッド種、雌、3歳齢。運動中に異常呼吸音を呈した。〔図17〕は喉頭の内視鏡検査像である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 喘鳴症（喉頭片麻痺）
2. 喉頭蓋エントラップメント
3. 喉嚢真菌症
4. 喉頭蓋下嚢胞
5. 軟口蓋背側変位

別冊 C
図 17

問18 〔図18 - A〕はある感染症に罹患した動物の脾臓内に認められたウイルス粒子の電子顕微鏡像である。〔図18 - B〕は本疾患の発生した地域を赤く示す。最も疑われる疾患はどれか。

1. 小反芻獣疫
2. 東部馬脳炎
3. 口蹄疫
4. リフトバレー熱
5. アフリカ豚熱

別冊 C
図 18 - A, B

問19 〔図 19〕の衛生動物（体長、5-8 mm）に関する記述として適切なのはどれか。

1. 雌の成虫のみが吸血する。
2. ヒトは山や溪流で被害を受けることが多い。
3. 夜になると活動して吸血する。
4. シャーガス病を媒介する。
5. 殺虫剤によって確実に駆除できる。

別冊 C

図 19

問20 犬、ラブラドル・レトリバー、雄、12 歳齢。重度の貧血と活動低下を主訴に来院した。脾臓に腫瘤が認められた。〔図 20 - A〕は摘出した脾臓の肉眼像、〔図 20 - B〕は腫瘤の病理組織像（HE 染色）である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 血管腫
2. 血管肉腫
3. 血腫
4. 組織球性肉腫
5. 脾臓の結節性増生

別冊 C

図 20 - A, B

問21 〔図 21〕の器具を用いて測定するのはどれか。

- a 牛乳における乳脂肪率
- b 水道水における残留塩素濃度
- c 食品における水分活性
- d 食品における揮発性塩基窒素量
- e 牛乳における無脂乳固形分

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

別冊 C
図 21

問22 薬剤 A および B を用いて、同一菌種の菌株 1 および菌株 2 の薬剤感受性を平板希釈法により評価したところ〔表 22〕の結果が得られた。解釈として正しいのはどれか。

- 1. 菌株 1 において薬剤 A の最小発育阻止濃度は 4 $\mu\text{g/ml}$ である。
- 2. 菌株 1 の薬剤 A に対する感受性は薬剤 B に対する感受性よりも高い。
- 3. 菌株 2 の薬剤 A に対する感受性は薬剤 B に対する感受性よりも高い。
- 4. 菌株 2 の薬剤 A に対する感受性は菌株 1 よりも高い。
- 5. 菌株 2 の薬剤 B に対する感受性は菌株 1 よりも高い。

別冊 C
表 22

問23 ウサギ、ロップイヤー、3歳齢。捻転斜頸と旋回を主訴に受診。ステロイドの投与により状態は一時改善したものの寛解はせず、呼吸不全により死亡した。〔図23 - A〕は大脳の病理組織像（HE染色）、〔図23 - B〕はそのグラム染色像である。本疾患の脳以外における病変発生臓器・部位として正しいのはどれか。

1. 肺
2. 眼球
3. 腹腔
4. 鼻腔
5. 腎臓

別冊 C
図 23 - A, B

問24 マウスの体外受精を行う際、精子の採取部位として適切なのは〔図24〕のA～オのどれか。

1. ア
2. イ
3. ウ
4. エ
5. オ

別冊 C
図 24

問25 〔図 25〕は「家畜伝染病予防法」に基づいて検査を行った巣脾の外観である。
この感染症に関する記述として適切なのはどれか。

1. 対策としてダニ駆除剤を用いる。
2. 治療はせず、焼却処分を行う。
3. グラム陰性球菌が原因である。
4. 春～夏に多発する。
5. 我が国ではこれまでに発生が確認されていない。

別冊 C
図 25

問26 猫、雑種、去勢雄、9 歳齢。便が出にくく、排便時に何度もいきむとの主訴
で来院。〔図 26〕は腹部 X 線側方像である。所見として最も適当なのはどれか。

- a 椎体間の狭小化
- b 直腸の腹側変位
- c 骨盤腔内の腫瘍
- d 前立腺の腫大
- e 膀胱の背側変位

1. a, b
2. a, e
3. b, c
4. c, d
5. d, e

別冊 C
図 26

問27 牛、ホルスタイン種、雌、3歳齢。分娩4日後に食欲の減退と発熱が認められ、泌乳量が減少した。陰部からは〔図27-A〕のような悪臭のある黒褐色の排出物が認められた。〔図27-B〕は子宮の超音波検査像である。最も疑われる疾患はどれか。

- a 膣脱
- b 子宮脱
- c 子宮水症
- d 産褥性子宮炎
- e 胎盤停滞

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

別冊 C
図 27-A, B

問28 〔図28〕は世界におけるある感染症の報告患者数の推移を示す。この感染症のヒトへの感染源となった動物種はどれか。

- 1. ヒトコブラクダ
- 2. フェレット
- 3. 豚
- 4. ハクビシン
- 5. 馬

別冊 C
図 28

問29 牛、ホルスタイン種、雌、1歳齢。食欲不振と消瘦を主訴に診察した。体温 39.4℃、心拍数 102 回/min、呼吸数 24 回/min。頸静脈の怒張がみられ、聴診では右心尖部に最強点を有する収縮期雑音が聴取された。〔図 29〕は右側第 4 肋間からの超音波検査像である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 創傷性心膜炎
2. 心室中隔欠損
3. 疣贅性心内膜炎
4. 後大静脈血栓症
5. 心膜中皮腫

別冊 C

図 29

問30 牛、ホルスタイン種、雌、3歳齢。分娩後 50 日目までに発情回帰が認められなかった。〔図 30〕は子宮の超音波検査像である。本疾患の治療法として適当なのはどれか。

- a GnRH の筋肉内投与
- b eCG (PMSG) の筋肉内投与
- c PGF_{2a} の筋肉内投与
- d 滅菌生理食塩水による子宮洗浄
- e 徐放性プロジェステロン製剤の腔内挿入

1. a, b
2. a, e
3. b, c
4. c, d
5. d, e

別冊 C

図 30

問31 〔図 31〕は、ある感染症への罹患が疑われる動物の診断手順である。この感染症はどれか。

1. 日本脳炎
2. 狂犬病
3. リンパ球性脈絡髄膜炎
4. ダニ媒介性脳炎
5. プリオン病

別冊 C
図 31

問32 犬、ジャック・ラッセル・テリア、去勢雄、7歳齢。突然吐き始め、咳をしているとの主訴で来院。〔図 32 - A〕は胸部 X 線側方像、〔図 32 - B〕は腹部 X 線側方像である。本疾患に対する処置として適当なのはどれか。

- a 催吐薬の投与
- b 食道切開
- c 胃内への異物押し込み
- d 肺葉切除
- e 消化管運動機能改善薬の投与

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

別冊 C
図 32 - A, B

問33 猫、雑種、去勢雄、1歳5か月齢。発熱、食欲不振を呈し、3週間後に死亡した。〔図33-A〕は剖検時の腹腔の肉眼像である。〔図33-B〕は腎臓にみられた灰白色小結節の組織像（HE染色）であり、同様の病変は腹腔内の諸臓器に観察された。最も疑われる疾患に関する記述として正しいのはどれか。

- a 好中球増多症を呈する。
- b うっ血性心不全を誘発する。
- c 門脈圧亢進を誘発する。
- d 蛋白質喪失性腸症を呈する。
- e 高ガンマグロブリン血症を呈する。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

別冊 C
図 33-A, B

問34 〔図34〕はある栄養素の欠乏によって死亡した反芻動物の脳の冠状断面に紫外線を照射した像である。欠乏しているのはどれか。

- 1. チアミン（ビタミンB₁）
- 2. ナイアシン（ビタミンB₃）
- 3. ビオチン（ビタミンB₇）
- 4. 葉酸（ビタミンB₉）
- 5. トコフェロール（ビタミンE）

別冊 C
図 34

問35 牛で人工授精 160 日後に胎子の死亡が確認されたため、人工流産処置を行った。〔図 35〕は、処置 1 日後の外陰部からの排出物である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 胎子浸漬
2. 反転性裂体
3. 胎子ミイラ変性
4. 無形無心体
5. 気腫胎

別冊 C
図 35

問36 〔図 36〕は、ある微生物が感染したペレニアルライグラス種子のローズベungal 染色像（×400）である。この微生物が産生する毒素はどれか。

1. シクトキシン
2. プロトベラトリン
3. ロリトレム
4. コリネトキシン
5. エルゴバリン

別冊 C
図 36

問37 〔図 37 - A〕はある感染症に罹患した馬の外貌である。本疾患は「家畜伝染病予防法」の監視伝染病に指定されており、〔表 37 - B〕は過去5年間における日本国内の届出数を示す（全ての対象家畜を含む）。最も疑われる疾患はどれか。

1. 馬鼻肺炎
2. 流行性脳炎
3. 類鼻疽
4. ゲタウイルス病
5. 破傷風

別冊 C
図表 37 - A, B

問38 犬、ミニチュア・ダックスフンド、去勢雄、12歳齢。数日前からの食欲不振と傾眠を主訴に来院。〔図 38 - A, B〕は造影 CT 検査像（A：横断像、B：矢状断像）である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 頭蓋骨骨折
2. 下垂体腫瘍
3. 水頭症
4. 壊死性髄膜脳炎
5. キアリ様奇形

別冊 C
図 38 - A, B

問39 あるウイルス液を100倍に希釈し、その0.2 mLを細胞に接種すると〔図39〕のプラック形成像が得られた。ウイルス感染価（PFU/mL）の近似値はどれか。

1. 1.3×10^3
2. 2.6×10^3
3. 1.3×10^4
4. 2.6×10^4
5. 1.3×10^5

別冊 C

図 39

問40 犬、シェットランド・シープドッグ、雌、7歳齢。活動性の低下と食欲不振を主訴に来院。白血球数は49,100 / μ lであった。〔図40 - A, B〕は本症例の末梢血液塗抹標本の鏡検像（ライトギムザ染色、A： $\times 400$ 、B： $\times 1,000$ ）である。所見として適切なのはどれか。

1. 好中球の左方移動
2. 生理的な好中球の増加
3. グルココルチコイド誘発性好中球増加
4. 多数の未分化細胞の出現
5. 高分化なリンパ球の増加

別冊 C

図 40 - A, B

問41 牛、黒毛和種、3か月齢。1か月齢を過ぎた頃から徐々に前肢の関節が変形してきた。〔図41〕は本症例の外貌である。本疾患の原因はどれか。

1. ビタミンA過剰
2. ビタミンA欠乏
3. ビタミンD過剰
4. ビタミンD欠乏
5. ビタミンE欠乏

別冊 C
図 41

問42 犬、シェットランド・シープドッグ、雄、8か月齢。ドッグランで転倒した後から右前肢を挙上しているとの主訴で来院。〔図42〕は患肢のX線側方像である。最も疑われる疾患はどれか。

1. モンテジア骨折
2. 成長板骨折
3. 上腕骨外側顆骨折
4. 骨軟骨腫
5. 離断性骨軟骨症

別冊 C
図 42

問43 犬、ポメラニアン、雌、7歳齢。1か月前から活動性が低下し、左後肢の跛行を繰り返しているとの主訴で来院。〔図43-A, B〕は左後肢のX線像（A：側方像、B：前後像）、〔図43-C〕は左膝関節の関節液塗抹標本の鏡検像（ライトギムザ染色、×200）である。最も疑われる疾患はどれか。

- a 前十字靭帯断裂
- b 膝蓋骨外方脱臼
- c 骨肉腫
- d 感染性関節炎
- e 免疫介在性関節炎

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

別冊 C
図 43 - A, B, C

問44 〔図44-A〕は我が国の食中毒統計におけるある病因物質の食中毒月別事件数（2018-2022年平均）、〔表44-B〕は年ごとの死者数である。この病因物質はどれか。

- 1. 腸管出血性大腸菌
- 2. ボツリヌス菌
- 3. ノロウイルス
- 4. 動物性自然毒
- 5. 植物性自然毒

別冊 C
図表 44 - A, B

問45 〔図 45〕は馬の肛門周囲の皮膚上に付着していた虫卵である。該当する寄生虫に関する記述として正しいのはどれか。

- a この寄生虫は日本でもみられる。
- b 成虫は馬の大腸に寄生する。
- c 虫卵から孵化した第3期幼虫を馬が経口摂取して感染する。
- d 成虫は寄生部位の粘膜に咬着して吸血するので、多数寄生では貧血がおこる。
- e 診断は浮遊法により糞便内の虫卵を検出することによる。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

別冊 C

図 45

問46 〔図 46 - A~D〕は「家畜伝染病予防法」で規定されるある家畜伝染病に罹患した牛において観察された特定症状である（A：鼻腔、B：上顎口唇、C：外貌、D：蹄）。この感染症発生時の対応に関する記述として正しいのはどれか。

- 1. 発生と同時にワクチンを使用してまん延を防止する。
- 2. 家畜防疫員が患畜または疑似患畜の所有者にとさつを指示する。
- 3. 患畜または疑似患畜の死体の埋却は認められていない。
- 4. 我が国は WOHAI (OIE) に発生を報告する義務はない。
- 5. 消毒には両性界面活性剤が適している。

別冊 C

図 46 - A, B, C, D

問47 猫、雑種、雌、43日齢。呼吸困難を主訴に来院。〔図47 - A, B〕は胸部X線像（A：側方像、B：背腹像）である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 脊椎奇形
2. 吸引性肺炎
3. 肋骨骨折
4. 漏斗胸
5. 肺葉捻転

別冊 C
図 47 - A, B

問48 犬、トイ・プードル、去勢雄、8歳齢。〔図48〕は症例の外観で、矢印で示す病変を認めた。最も疑われる疾患はどれか。

1. 扁平上皮癌
2. 血管腫
3. 類上皮腫
4. チェリーアイ
5. マイボーム腺腫

別冊 C
図 48

問49 〔図 49〕のような粒子形態を示すウイルスによる豚の疾患はどれか。

1. 豚繁殖・呼吸障害症候群
2. 豚水疱病
3. 豚流行性下痢
4. 豚水疱疹
5. 豚熱

別冊 C

図 49

問50 犬、ミニチュア・シュнауザー、避妊雌、12歳齢。後肢に多数の結節を認めるとの主訴で来院。〔図 50 - A〕は病変部の外貌、〔図 50 - B〕は細針吸引細胞診像（ギムザ染色、×400）である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 組織球性肉腫
2. 末梢神経鞘腫
3. 形質細胞腫
4. 落葉状天疱瘡
5. 無菌性結節性脂肪織炎

別冊 C

図 50 - A, B

問51 猫、雑種、去勢雄、3歳齢。高所より落下後、右後肢がおかしいとの主訴で来院。〔図51〕は症例の外貌である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 坐骨神経麻痺
2. 総踵骨腱断裂（アキレス腱断裂）
3. 前十字靭帯断裂
4. 膝蓋骨内方脱臼
5. 股関節頭背側脱臼

別冊 C

図 51

問52 牛、黒毛和種、雄、14日齢。活力と食欲の低下で診察依頼があった。右臍部背側で腫瘤を触知、〔図52 - A〕は同部位の超音波検査像、〔図52 - B〕は摘出した腫瘤の断面である。腫瘤内部の貯留液から細菌は分離されなかった。最も疑われる疾患はどれか。

1. 水腎症
2. 顆粒膜細胞腫
3. 牛伝染性リンパ腫
4. 化膿性腎炎
5. 膀胱炎

別冊 C

図 52 - A, B

問53 犬、雑種、避妊雌、12歳齢。急性の呼吸困難を主訴に来院。〔図53 - A, B〕は胸部X線像（A：側方像、B：背腹像）である。最も疑われる疾患・病態はどれか。

1. 前胸部腫瘍
2. 胸水
3. 肺水腫
4. 誤嚥性肺炎
5. 気胸

別冊 C
図 53 - A, B

問54 〔図54 - A～E〕のうち、発疹チフスの病原体のベクターはどれか。

1. A
2. B
3. C
4. D
5. E

別冊 C
図 54 - A, B, C, D, E

問55 牛、ホルスタイン種、雌、5歳齢。予定日に分娩が始まったが、子牛が娩出されないとの主訴で診察を行った。用手にて子宮内を内診したところ、胎子は過大ではなく生存し、子宮内は〔図 55〕のような状態であった。今後の判断として最も適切なのはどれか。

1. 頭位上胎向のため失位の整復は必要ない。
2. 頭位上胎向のため失位の整復が必要である。
3. 頭位下胎向のため失位の整復は必要ない。
4. 頭位下胎向のため失位の整復が必要である。
5. 失位の整復は困難なので、ただちに帝王切開をすべきである。

別冊 C

図 55

問56 犬、雑種、未去勢雄、10歳齢。最近尿が出づらそうとの主訴で来院。〔図 56 - A〕は症例の外貌、〔図 56 - B〕は逆行性尿路造影検査側方像である。本症例に対する治療として最も適切なのはどれか。

- a 膀胱結石の摘出
- b 前立腺の切除
- c 去勢手術
- d ヘルニア孔の閉鎖
- e 定期的な浣腸

1. a, b
2. a, e
3. b, c
4. c, d
5. d, e

別冊 C

図 56 - A, B

問57 ある疾病への罹患の有無が既知の個体 50 頭（罹患 20 頭、非罹患 30 頭）を対象として新規に開発された検査を実施したところ、〔表 57〕の結果が得られた。この検査の特異度と陰性反応的中度の算出方法の組合せはどれか。

- | 特異度 | 陰性反応的中度 |
|-----------------|------------------|
| 1. $16 \div 20$ | ——— $28 \div 30$ |
| 2. $20 \div 50$ | ——— $4 \div 32$ |
| 3. $28 \div 30$ | ——— $28 \div 32$ |
| 4. $16 \div 20$ | ——— $16 \div 18$ |
| 5. $2 \div 18$ | ——— $28 \div 32$ |

別冊 C
表 57

問58 乳房炎を疑う牛の乳汁から分離された菌株を、血液寒天培地に *Staphylococcus aureus* とともに画線し培養したところ〔図 58〕の結果が得られた。分離菌株の菌種として最も疑わしいのはどれか。

1. *Streptococcus agalactiae*
2. *Streptococcus canis*
3. *Streptococcus dysgalactiae*
4. *Streptococcus pyogenes*
5. *Streptococcus uberis*

別冊 C
図 58

問59 馬、サラブレッド種、雌、3歳齢。左前肢の跛行を主訴に診察した。〔図59〕は、患肢前後方向のX線像である。骨折部位はどれか。

1. 中間手根骨
2. 第3中手骨
3. 副手根骨
4. 近位種子骨
5. 第1指骨

別冊 C
図 59

問60 〔図60〕は猫の脊椎造影X線像（A：側方像、B：斜位像）である。所見として最も適当なのはどれか。

1. 硬膜外病変
2. 硬膜内髄外病変
3. 髄内病変
4. クモ膜嚢胞（脊髄くも膜憩室）
5. 脊髄空洞症

別冊 C
図 60 - A, B

